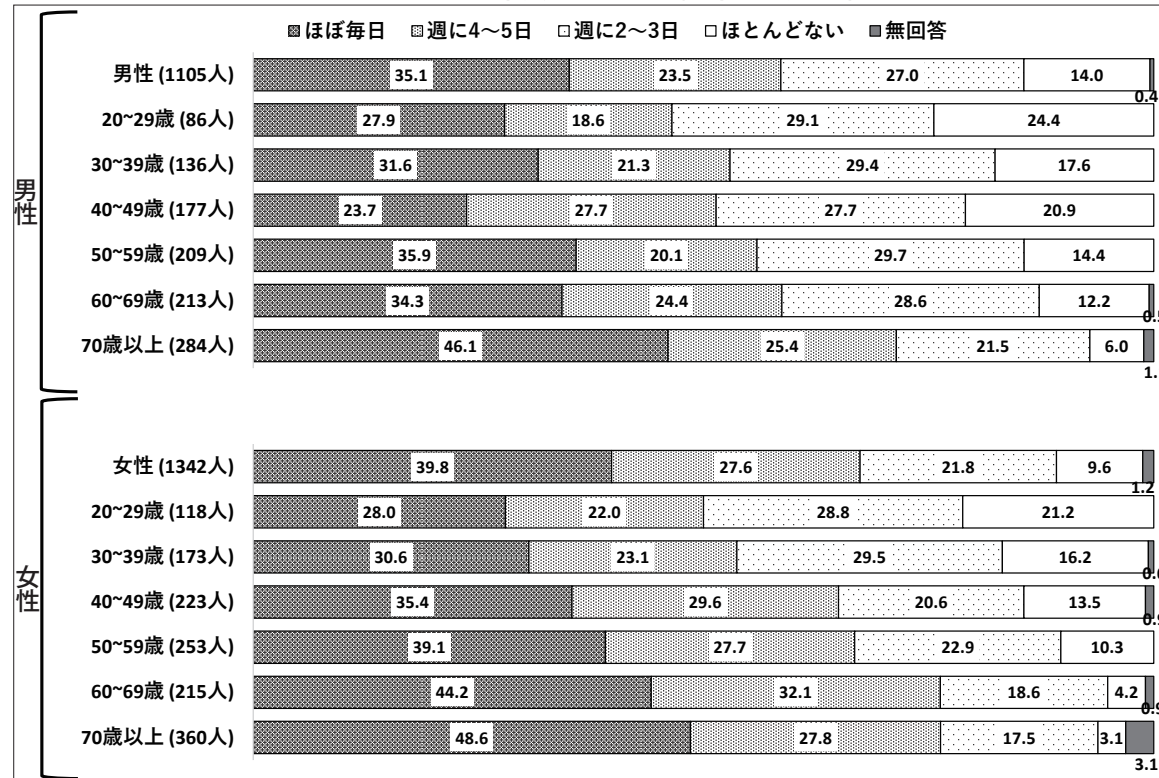


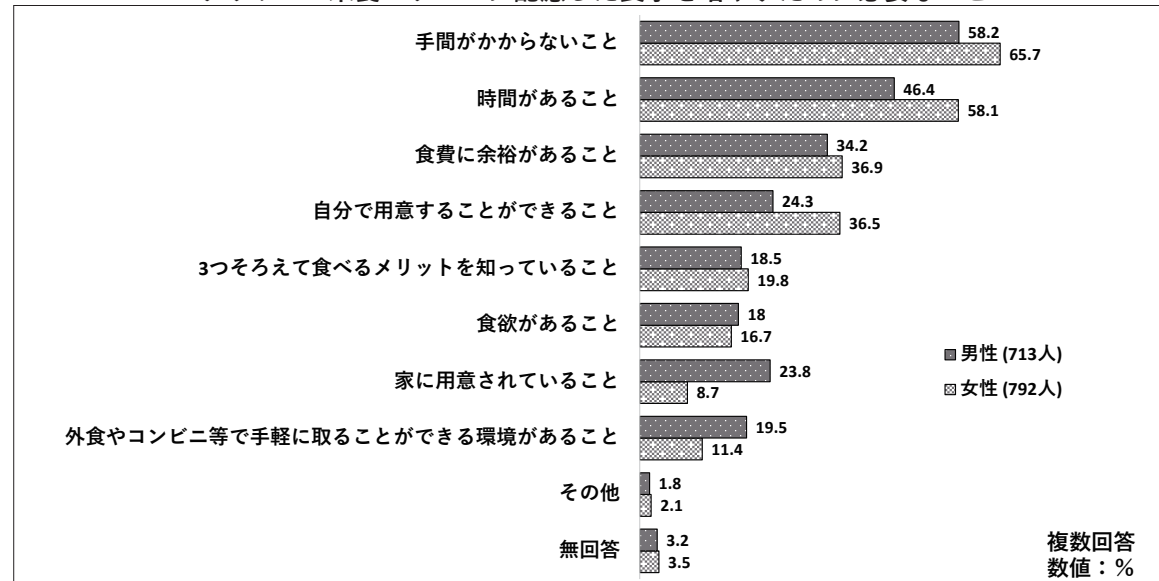
次のグラフは、全国の二〇歳以上を対象に、農林水産省が実施した調査結果の一部です。グラフ1は「栄養バランスに配慮した食生活」、グラフ2は「栄養バランスに配慮した食事を増やすために必要なこと」の結果を示しています。この調査では、「栄養バランスに配慮した食生活」とは、主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。」の問いに対する回答です。このグラフから読み取れる課題を述べ、解決策を四〇〇字程度で述べなさい。

グラフ1：栄養バランスに配慮した食生活



※ 「主食（ごはん、パン、麺など）・主菜（肉・魚・卵・大豆製品などを使ったメインの料理）・副菜（野菜・きのこ・いも・海藻などを使った小鉢・小皿の料理）を3つそろえて食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。」の問いに対する回答

グラフ2：栄養バランスに配慮した食事を増やすために必要なこと



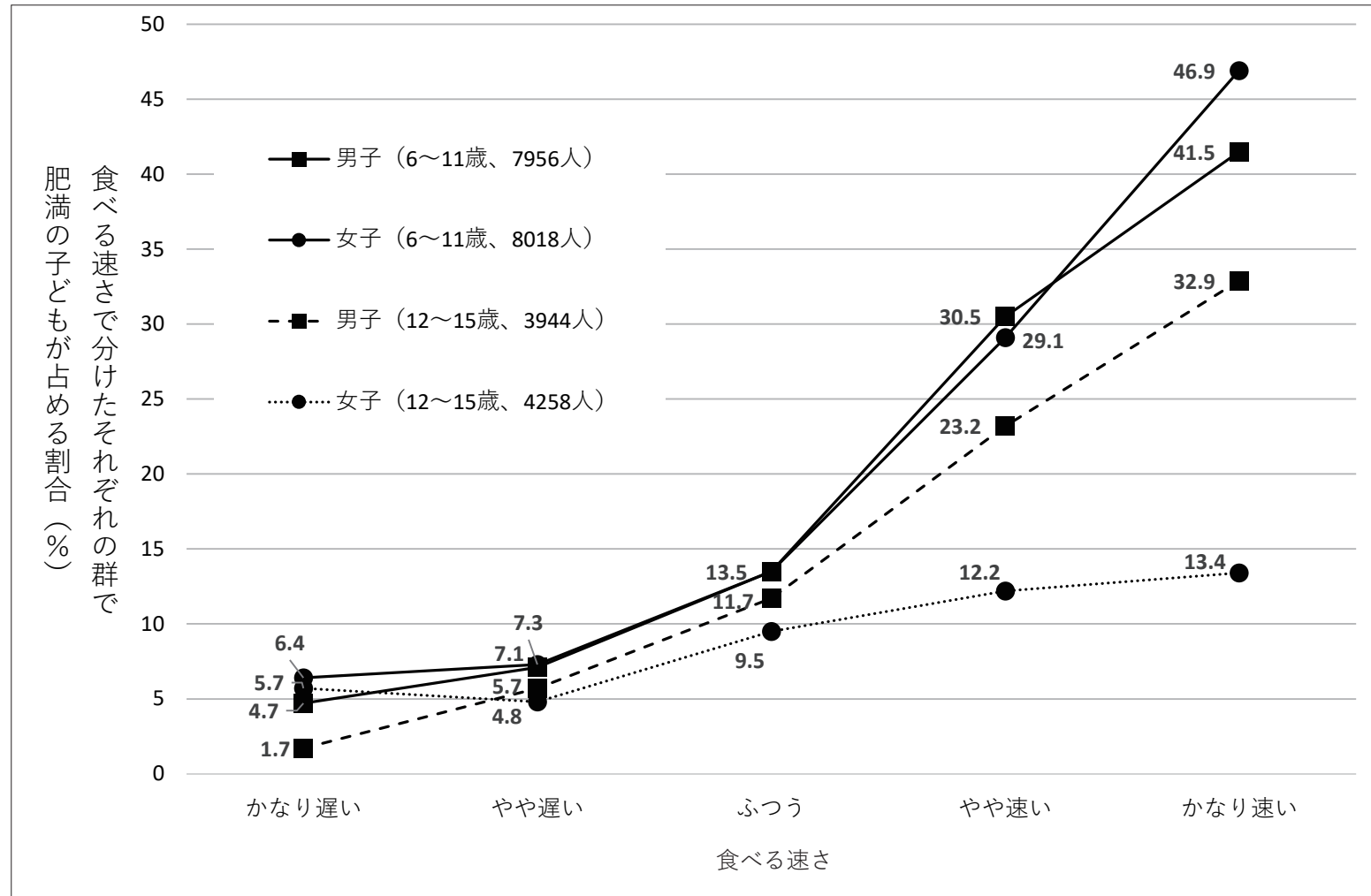
※ グラフ1の問いに対して「週に4~5日」、「週に2~3日」、「ほとんどない」と答えた方に対して、「主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる回数を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。この中から3つまで選んで○をつけてください。」の問いに対する回答

保健栄養学科（栄養科学専攻・保健養護専攻）、食文化栄養学科

栄養イノベーション専攻は栄養科学専攻をご覧ください。

近年、大人だけでなく、子どもたちの肥満も大きな問題となっています。次のグラフは、今や全国一の肥満県となった沖縄で行われた研究結果です。この結果から読み取れる課題と解決策を四〇〇字程度で述べなさい。

沖縄県の小中学生における食べる速さと肥満の子どもの割合（％）の関連



※食べる速さの質問はおもに、小学校低学年では保護者が、その他では本人または本人と保護者が一緒に回答。

佐々木敏著「佐々木敏の栄養データはこう読む！疫学研究から読み解くぶれない食べ方（第2版）」（女子栄養大学出版部 2021年）より作図
 Murakami K, et al: Self-reported rate of eating and risk of overweight in Japanese children: Ryukyus Child Health Study. J Nutr Sci Vitaminol. 2012;58(4):247-52. をもとに著者が作成